

体を動かす楽しさを味わい、いろいろな動きを身に付けることができる児童の育成

—低学年児童の「もっとやりたい」を引き出す、『多様な動きをつくる運動遊び』指導の工夫—

特別研修員 体育 中澤麻由美（小学校教諭）

児童の実態

- 「運動することが好き」ではあるが
- 日常的運動習慣の二極化傾向
- 体力や運動技能に偏り
- いろいろな運動・遊びの経験不足

手立て

- ①夢中になって取り組める運動メニュー
や場の設定の工夫
- ②いろいろな動きを身に付けたり、動き
の幅を広げたりする学習カードの工夫

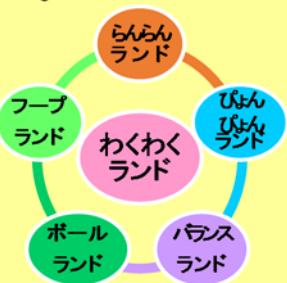
教師の願い

日常的な運動習慣、
いろいろな動きを
身に付けさせたい！

実践1 「わくわくランドへレッツゴー！」

手立て① 運動メニューや場の設定の工夫

わくわくランドでいろいろな動きを楽しむ



忍者ランドでスーパー忍者を目指す



手立て② 学習カードの工夫

わくわくbingo②

名まえ	名まえ
ケンケンバ とまらず すすむ	ボールよけ 5回
フープまわし 10 びょう	かた足バランス 10 びょう
ドリブル 10 回	ゴロバス 10 回

もっとやりたい動きを選んで行う「bingoカード」



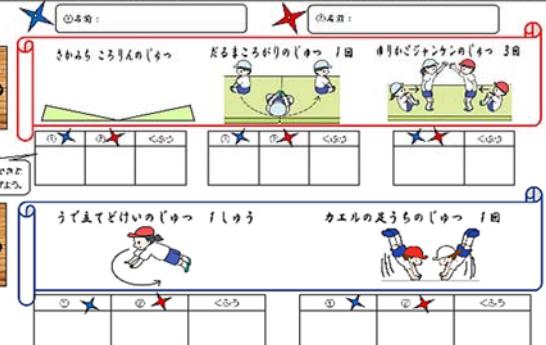
おもしろい動きを考えたよ！

動きの幅を広げる「動きの工夫ヒントカード」

【ドリブル】 くふうの ヒント
●ぎゃくの手で ●りょう手で ●右手左手 こうごに ●2回 いっぺんに ●ボールのしゃるいをかえて など

【だるまこころがり】 くふうの ヒント
●はんたいがわに ころがる ●れんざくて何回できるか ●2人で同時に ●3人で など

にんじゃ しゅぎょうカードZ ~目ざせ！スーパーにんじゃ！~



全ての術(動き)を行う「忍者修行カード」



実践1授業後の児童の感想

- ・フープが回せるようになって嬉しかった。
- ・いろいろな動きの工夫ができて楽しかった。

成果

- 児童が夢中になって楽しく取り組める運動メニューや場の設定を工夫することで、いろいろな動きを幅広く経験することができ、児童は楽しみながら自然に動きを身に付けていくことができた。
- 学習カードを工夫することで、児童は意欲的に運動遊びに取り組み、友達と動きを見合ったり、動きの工夫を考えて行ったりすることができた。
- 様々な運動につながる基本的な動きを経験したことで、他の単元でも意欲的に活動する姿が見られた。

課題

- 動きが難にならないように、よい動きをしている児童を取り上げて動きのこつを知らせたり、どんなことに気を付けて行っているか問いかけたりするなど、教師の観察と言葉かけが重要である。
- 授業だけに留まらず、日常的な運動(遊び)習慣につながるような手立てがさらに必要である。